プリンストン日本語学校
表現学習発表会を開く

プリンストン日本語学校（平本秀次校長）は1月26日と2月2日に、補習校およびプリンストンコースの中高等部生徒64人による表現学習発表会を開催した。司会進行の高校生から名前と演題が紹介されると、生徒たちは約3分間のスピーチを行った。スクリーンにて、写真や動画を使った発表も見られた。どの生徒も観客を前に堂々とした態度で臨んでいた。演題はスポーツ、アート、テクノロジー、文化、風習（祭り）、法律、教育、理論、国際問題、社会問題、環境問題、世界情勢、政治経済、宇宙、歴史や神話、そして個々の人生観と多岐にわたり、難しい演題に対して率直な意見を堂々と伝え、会場から拍手喝采を浴びた。

ハーモニーバスケット
NY育英学園で歌う

ニューヨーク育英学園全日制部門小学部（NJ州イングルウッドクリフス、岡本徹学園長）では7日、フォートリーをベースに活動する日本人女性コーラスグループのハーモニーバスケットが小学部全児童に日本語と英語の歌を披露した。

当日は一日英語の日（All English Day）であることから、子ども達は英語で司会を行い、行事企画委員会の4人の児童が、曲の紹介を英語でおこなった。子ども達に親しみのあるディズニー映画「リトル・マーメイド」の主題歌、"Part of Your World"や、沖縄の童謡、全国高校野球甲子園大会のテーマソング、1940年代のクラシック曲まで、8曲のバラエティに富んだ美しい合唱を楽しんだ。子ども達はリズムに合わせて体を動かしたり、うっとりと聞き入っていたりした。最後の曲は子ども達にもおなじみの「雪やこんこ」のアレンジ曲で盛り上がった。大きな拍手の後は、子ども達からお礼の気持ちをこめて、"Thank You Mommy"という曲を送った。英語の授業で手話をつけながら練習した曲だ。日本語と英語の両言語の美しい歌詞とメロディーを満喫することができた一日となった。

NY育英学園
NJ全日制改称

NJ全日制は、2025年度（25年4月）より「NY育英インターナショナルスクール」と改称し、文部科学省指導要領に準拠したきめ細やかな日本人学校としての授業に加え、国際人を育む週に10時間の英語学習と学園オリジナルカリキュラムのクロスメソッドを駆使して、世界に羽ばたく人材育成をさらに強化していく。また、NJやNYCの広範囲にスクールバス運行も展開している。空きがある学年では、全部門において随時編入も受け付けている。見学・問い合わせは電話201・947・4832、Eメール Dayschool@nyikuri.org（NJキャンパス事務局）まで。

節分の節目に古武道
フィラデルフィア日本語補習授業校

フィラデルフィア日本語補習授業校（福澤隆治校長）の継承日本語コースは1日、節分と古武道をテーマに合同授業を行った。まず、節分に関するクイズを通して風習について学び、「自分の中の鬼は何か」というテーマのもと、発表会を行った。自分の中の「追い出したい鬼」を考察することで、節分の行事が持つ意味を更に深く理解した後、「鬼退治をするための自分の中の強さづくりの一助」として、日本の伝統武道である「古武道」を紹介した。

30年間古武道を続けてきた同校の福澤校長をゲストに迎え、武道と武術の違いや歴史について話を聞き、武道の精神について学びを深めた。校長が実際に武道着をまとい刀を使った型を披露すると、会場は一気に緊張感に包まれた。刀を抜いた瞬間、息をのむような空気が広がり、児童生徒は真剣な眼差しでその動きを見つめ、正にその「真剣」という言葉の語源を体感する機会となった。授業後、児童生徒は「校長先生のように強くなりたい！」「刀を使った型がかっこよかった！」と話していた。

フィラデルフィア日本語補習授業校 継承日本語コースは、日本語学習の意欲向上につなげるため、今後もこのような日本文化を学ぶ体験的な機会をできるだけ多く提供していく予定。

こどものくに幼稚園
雪で遊ぶ楽しい時間

週末に雪が降った月曜日、子どもたちは「きょうはゆきだるまできるかな」と言いながら登園してきた。こどものくに幼稚園には、緑あふれる広いフィールドがあり、春には花が咲き、夏には芝生の緑が色鮮やかになり、秋には落ち葉がひらひらと舞い落ちる。この日は、そのフィールドが一面の雪で真っ白に覆われた。足跡ひとつない広いフィールドを見た途端に「わあー！」と大きな声をあげてみんな走り出した。表面が薄く氷になった雪は踏むとザクザクと音を立て、その音を楽しむようにあちこちを歩き回った。「ねっころがろうよ、いくよ！」「せんせいも！」とみんなで雪の上にゴロンと仰向けに。その後は、みんなで力を合わせて雪を固めて小さな滑り台を作った。すーっとうまく滑れても、途中でゴロンと横になってしまっても、全てが楽しくて笑い声が溢れた。家庭での雪遊びも楽しいけれど、友達との雪遊びはまた違った楽しさがあるようだ。

あおぞらサマーキャンプ 2025
参加者を募集

ブルックリンにある教育・文化系の非営利団体「あおぞらコミュニティ」が、今年の7月から8月にかけての夏休みの期間に開催する「あおぞらサマーキャンプ2025」の参加者募集を開始した。

あおぞらサマーキャンプは、夏休みの間、子どもたちが日本語のシャワーをたっぷりと浴びて、元気いっぱいに夏を楽しむことを目的としたプログラム。キャンプは7月7日から8月22日までの7週間にかけて行われる。2020年から22年生まれの子供を対象にした「日本昔ばなしキャンプ」や、17年から19年生まれの子供を対象にした「アニメ&まんがキャンプ」がある。

外に出て体をいっぱい動かしたり、アート活動をしたりなど、週ごとの日本文化のテーマにそって完全に日本語で行う。子どもたちが日本や日本文化とのつながりを深めるために作られたプログラムとなっており、ほかほかで美味しい給食もついくる。

早期申込割引もある。申し込み・詳細はウェブサイト https://www.aozoracommunity.org/2025-summer-camp を参照する。